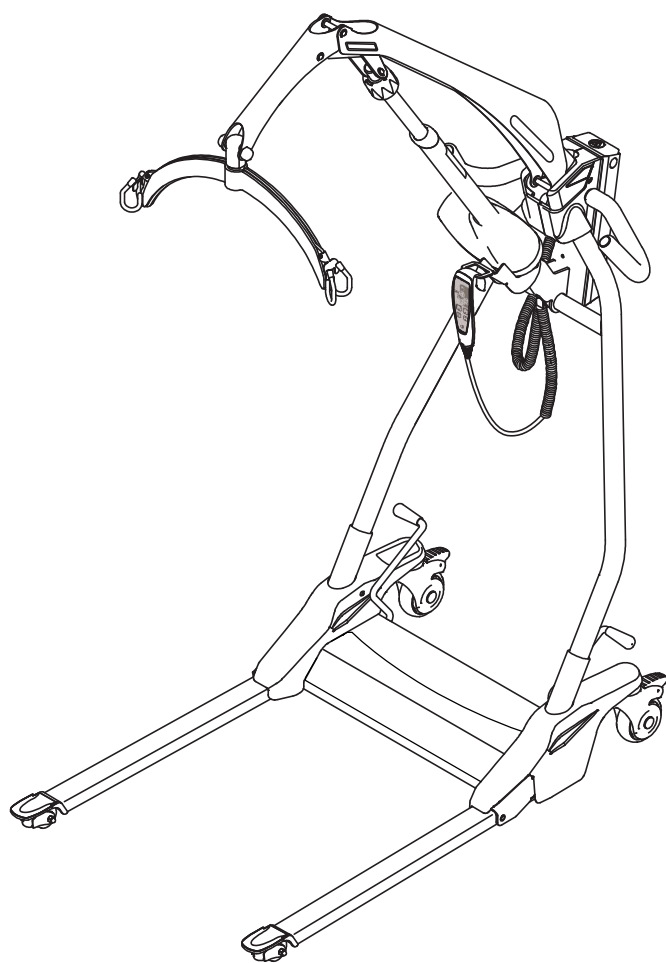


移動式リフト

型番 EL-610



取扱説明書

目次

まえがき	2
表示記号のご説明	2
移動式リフトEL-610	
について	3
使用目的	3
特長	3
各部の名称	4
ご使用になる前に	5
はじめに	5
安全上の注意事項	5
使用前点検	9
使用方法	10
充電器	10
バッテリー	12
ブレーキ	15
旋回サポート	15
手元スイッチ・本体スイッチ	16
ベース開閉	17
アーム昇降	18
収納	19
緊急停止と手動降下	20
ハンガー	21
吊り具	22
日常のお手入れ	29
お手入れ方法	29
消耗品の名称	30
消耗品の交換時期	30
トラブルシューティング	31
リフト	31
バッテリー・充電器	33
ご使用期間とアフターサービスについて	35
ご使用期間について	35
修理を依頼されるときは	35
仕様	36

保証書

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

正しく安全にご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

なお、この取扱説明書には、保証書が付いております。

取扱説明書の内容、および保証書の内容がいつでも確認できるよう、大切に保管してください。

本製品を安全にご使用いただくには、本書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、ご使用ください。

本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に対して、弊社はその責任を負いません。

また、本書で説明している使用方法および安全に関する注意事項は、本製品を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。本書で説明していない使用方法是、行わないでください。

仕様の変更により、本書の内容の中に、お買上げの製品と詳細において異なる場合があります。

お買上げの製品または本書の内容につきましてご質問がございましたら、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。

表示記号のご説明

本製品および本書には、使用者および他の人への危害や損害を未然に防ぐため、安全上の注意を次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味を十分にご理解のうえ、安全上の注意を必ずお守りください。

●表示の意味

⚠ 危険…誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う深刻な危険が予想される内容を説明しています。

⚠ 警告…誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を説明しています。

⚠ 注意…誤った取扱いをすると、人がケガを負う可能性および本製品の故障につながる可能性が予想される内容を説明しています。

注意… 本製品の故障を防ぐための注意事項や、より快適にご使用いただくためのアドバイスなどの内容を説明しています。

●記号の意味

⊘ 禁止することを説明しています。

⚠ 注意することを説明しています。

❗ 強いお願いをすることを説明しています。

移動式リフト E L - 6 1 0 について

使用目的

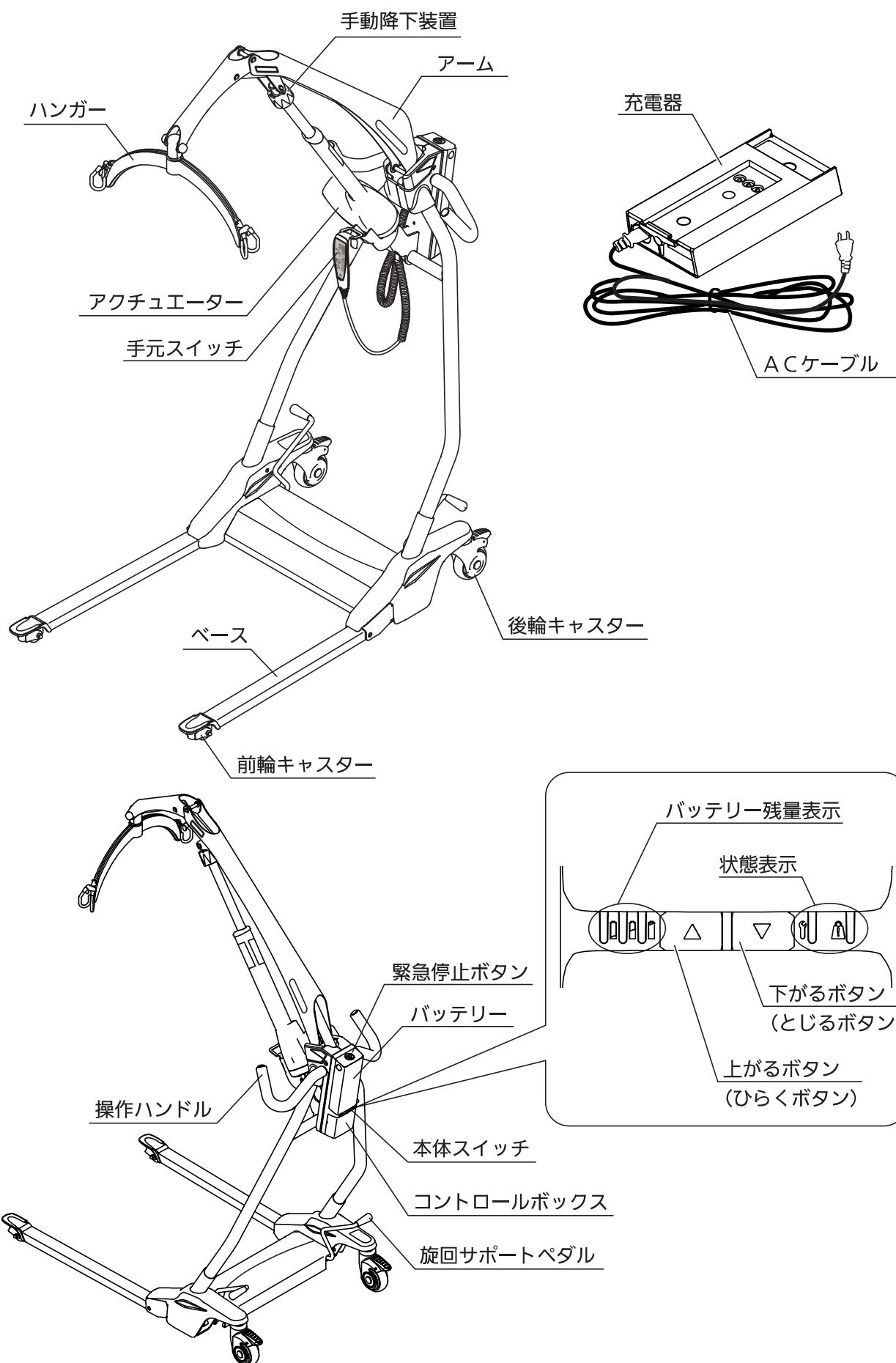
ベッドから車椅子やポータブルトイレなどへの移乗介助を補助し、介護者の負担を軽減する移動式リフトです。

特 長

- ・アーム昇降とベース開閉は電動で動作します。
また、アーム昇降は無負荷時に加速ボタンによりスピードアップできるため、効率よく介助できます。
- ・バッテリー残量はコントロールボックスで確認できます。（４段階表示）
- ・小型軽量のリチウムイオンバッテリーのため、着脱・充電が楽に行えます。また、劣化しにくい高寿命タイプで、有害物質も含まない環境に配慮したバッテリーです。
- ・吊上げのときに、ご利用者の足元にあるフレームが大きく開いているため、足があたらず、安心してご使用いただけます。
- ・アーム昇降はリンク方式を採用し、昇降時のハンガーの位置ずれを低減したため、乗換え時にご利用者の位置がずれません。
- ・緊急停止ボタン、手動降下装置を装備しています。
- ・アームははさみ込み防止機能付です。（下降時）
- ・ホルダーを設けた手元スイッチに加え、支柱後方にあるコントロールボックスにもスイッチを搭載しました。介護者の手の届きやすいところにスイッチがあり、効率よく介助できます。
- ・取回ししやすくするために、旋回サポート機能（旋回軸になる車輪をベース中央に設定）を搭載しました。方向転換の支点ができるため、省スペースで楽に旋回できます。
- ・ハンガーフックには吊り具用の抜止め装置がついています。
- ・収納ボタンで、アーム（下降）とベース（閉じる）を同時に動かし、コンパクトな状態にできるため、収納しやすくなります。

移動式リフト E L - 6 1 0 について

各部の名称



ご使用になる前に

はじめに

初めて使用する場合や、長期間使用しなかった場合は必ず充電してください。

…本製品は、ご使用にならなくても、少しずつ電力を消費します。残量が少ない状態が続くと、バッテリーの寿命は短くなります。本製品を2週間以上使用しないで保管するときは、本体から取外し、充電完了させてからバッテリー単体の状態で、風通しの良い涼しい場所に保管すると、バッテリーが劣化しにくくなります。

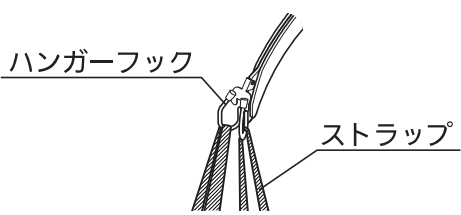
安全上の注意事項

次の内容および本製品に表示された安全上の注意を必ずお守りください。

これら安全上の注意以外であっても、無理な使用はしないでください。

●安全上の注意

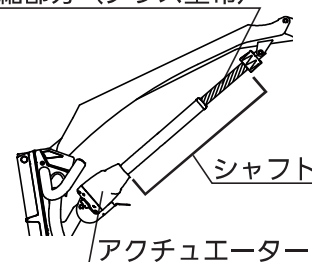
⚠ 危険

	本製品の最大持上げ質量は120kgです。120kgを超える方には使用しないでください。
	本製品は1人用です。必ず1人の方にご使用ください。
	本製品に修理が必要な場合は使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
	本製品の改造はしないでください。改造が必要な場合は、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。 …事故や故障の原因になります。
	小さなお子様や取扱説明書の内容が十分ご理解ができないと思われる方には操作させないでください。また、本製品は使用目的以外では使用しないでください。
	本体に貼付けてあるシールの内容は安全上、および本製品を正しくご使用いただくために非常に重要ですので必ずお守りください。
	傾斜地では使用しないでください。 …傾きによりバランスを崩し、転倒する恐れがあります。
	吊り具の各ストラップが、ハンガーフック部に正しく確実にかかっているか確認してください。 …落下やケガの原因になります。
	
	ご利用者を吊上げたまま本体から離れないでください。

⚠ 警告

⚠	本体を移動するときは、床面の溝などにキャスターが脱輪しないよう注意してください。
!	介護者をご利用者の状態を変化させる場合には、ご利用者の様子を見ながらゆっくりと操作してください。少しでもご利用者に異常が見られたときは直ちに操作を中止してください。
!	ご利用者を吊上げ、吊下ろしをするときは、本体のベースを開いてから行ってください。 …本体が不安定になり、転倒してケガをする恐れがあります。
!	床から吊上げ、吊下ろしをするときは、ご利用者の頭が本体側に向くようにし、ご利用者の頭を支えてください。 …本体は昇降中、前後に動くことがあります。そのため、ご利用者の頭を支えておかないと、頭が本体に当たり、ケガをする恐れがあります。
⊘	ご利用者を吊上げた状態で段差の乗越えはしないでください。
⊘	ご利用者を吊上げて移動するときは、必要以上に高く吊上げないでください。 …バランスを崩し、転倒する恐れがあります。
⚠	横方向に移動する際は、十分注意してください。 …バランスを崩し、転倒する恐れがあります。
⚠	アーム、アクチュエーター、ベースなど可動部のすき間で手や足などをはさまないように注意してください。
!	アームには、はさみ込み防止機能があります。アームが干渉した場合ははさみ込みの原因を取除いてください。
⊘	アクチュエーターを持って移動させないでください。 …シャフト部の曲がりや破損の原因になります。
⚠	アクチュエーターのシャフト部の伸縮部分にはグリスが塗布されています。手や衣類が触れないように注意してください。 …グリスが付着して汚れる恐れがあります。
⚠	充電器のケーブル、手元スイッチのケーブル、アクチュエーターのケーブルは、無理な折曲げや引っ張り、はさみ込みなどがないようにしてください。 …故障、感電、漏電による火災の恐れがあります。

伸縮部分（グリス塗布）



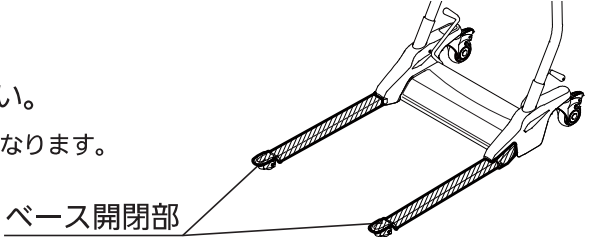
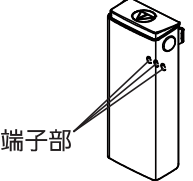
ご使用になる前に

	手元スイッチ、本体スイッチは必要以上に操作しないでください。 …電気系統の故障、劣化、誤作動による事故の原因になります。
	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 …感電事故の原因になります。
	充電器の電源は家庭用AC100V専用です。他の電源には接続しないでください。 …故障、火災、事故の原因になります。
	コントロールボックスには、他の機器やACコードなどを接続しないでください。 …故障、火災、事故の原因になります。
	バッテリー、充電器は本製品専用です。他の機器には接続しないでください。 …故障、火災、事故の原因になります。

⚠ 注意

	本製品を移動させるときは、周囲の安全を確認してから操作してください。特に移動中などではご利用者の足元にご注意ください。
	本製品は防水構造ではありません。浴室など水がかかる場所や、湿度の高い場所では使用しないでください。雨にさらされる屋外での使用も避けてください。また、水洗いはしないでください。 …故障、誤動作、火災、錆の原因になります。
	ハンガーはご利用者の顔のすぐ近くにありますが、操作時にぶつけないよう十分注意してください。
	ベッドを昇降するときはハンガーの引っかかりに注意してください。
	畳やじゅうたんなどの上で本体を操作するときは、動かしにくいので乗換えを行う場合には車椅子などの動かしやすい機器を動かすようにしてください。
	畳やじゅうたんの上でベースの開閉はしないでください。 …畳やじゅうたんを傷つける恐れがあります。状況により、フローリングに変える、タイルカーペットを敷くなどしてご使用ください。
	ベース部と床の間で足をはさまないようにしてください。
	本体を使用するとき以外はブレーキをかけておいてください。
	無垢材の床に本製品を保管するときは、マットなどを敷いてキャスターが床に直接触れないようにしてください。 …床の材質によっては、数時間同じ場所に置くと、キャスターが床にシミをつける恐れがあります。

⚠ 注意

	2分以上連続してアームの昇降、ベースの開閉をしないでください。 2分間使用した場合は、18分間休止してください。 …アクチュエーターの最長連続使用時間は2分未満です。2分以上連続して使用すると、電装品が故障する恐れがあります。
	高熱を発するものの近くには置かないでください。 …異常過熱による故障、火傷、火災の原因になります。
	手元スイッチ、バッテリー、充電器は、落としたりぶついたりなど乱暴に扱わないでください。
	直射日光の当たる所に放置しないでください。 …長時間直射日光が当たると製品劣化の原因になります。
	異常に気がいたら直ちに使用を中止してください。 …そのまま使用すると事故の原因になります。
	周囲温度5～40℃の範囲でご使用ください。特に高温の場所での使用や充電、保管はしないでください。
	各ケーブルにひび割れ、キズなどがいないか確認してください。ひび割れやキズなどがある場合は使用を中止してください。 …感電、発火、誤動作の原因になります。
	ベースの開閉部には乗らないでください。 …キャスターの破損、転倒などの事故の原因になります。 
	使用しないときはアクチュエーターのシャフト部の保護のため、最低位にすることをおすすめします。
	非常時のみ、手動降下装置を利用してください。通常は利用しないでください。 …故障の原因になります。
	バッテリー裏側にある端子部を、金属に接触させないでください。 …ショートして感電したり、故障の原因になります。 
	静電気を帯びた状態で操作を行うと電子部品が故障する恐れがあります。特に冬場などには、ドアノブなどの金属に触れるなどして静電気を取除いてから操作してください。

ご使用になる前に

使用前点検

ご使用前に、毎回必ず使用前点検し、項目をすべてクリアした場合に限りご使用ください。
ひとつでもクリアできない項目があった場合は使用を中止し、対処方法に従ってください。

使用前点検項目		対処方法
ブレーキはかかりますか。 (かからないとき→NO)		
AC ケーブル、手元スイッチのケーブル、 アクチュエーターのケーブルに劣化による ひび割れ、キズはありませんか。 (ひび割れ、キズがあるとき→NO)	▶ NO	使用を中止し、ご購入先または 弊社各営業所までご連絡ください。
アームの昇降、ベースの開閉はできますか。 (できないとき→NO)	▶ NO	バッテリーは確実に接続されているか、 緊急停止ボタンが押されていないか、 確認してください。 (本書 13、20 ページ参照)
アームの昇降、ベースの開閉時に 「ピー」と音は鳴っていませんか。 (「ピー」と音が鳴っているとき→NO)	▶ NO	充電してからご使用ください。
手動降下装置は手で回せますか。 (回せないとき→NO)		
操作中、 気になるがたつきはありませんか。 (あるとき→NO)	▶ NO	使用を中止し、ご購入先または 弊社各営業所までご連絡ください。
操作中、気になる音はしませんか。 (音がするとき→NO)		
消耗品は大丈夫ですか。 (本書 30 ページ参照) (交換時期になっているとき→NO)		

⚠ 注意



使用前点検項目以外でも、おかしいと感じたり、今までと違うような気がした場合は
使用せず、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。お客様の判断で本書で
説明していない内容の対処はしないでください。

充電器

●充電器の安全上の注意

⚠ 危険

	充電器は、風通しの良い場所でご使用ください。タバコなどの火の気のある場所、直射日光下や発熱体の近くなど高温の場所、浴室などの湿度の高い場所や水分のかかる場所、振動、塩害、化学性ガス害の受けやすい場所、密閉容器内などでは使用しないでください。 …発火、爆発、漏電、感電、故障の原因になります。
	ガソリン・オイルなどの可燃物の周辺や法令で第一種・第二種危険場所に指定されている場所では使用しないでください。 …火災、引火爆発の原因になります。
	充電器は、本製品付属のバッテリー以外の充電には使用しないでください。 …発火、爆発、故障の原因になります。

⚠ 注意

	子供・乳幼児には手をふれさせないように注意してください。 …ケガ、感電、発火、故障の原因になります。
	充電器の電源は家庭用AC100V専用です。 …他の電源を使用した場合、発火、故障の原因になります。
	充電器は、落としたり衝撃を与えないでください。 …ケガ、感電、発火、故障の原因になります。
	ACケーブルの上に物を載せないでください。また、コードに劣化によるひび割れ、傷などがいないか定期的に確認してください。 …感電、発火、故障の原因になります。
	充電器のACケーブルは、コードを引っばらず、必ず電源プラグを持って抜いてください。また、充電器を使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いておいてください。 …ACケーブルが破損し、感電、発煙、火災やケガの原因になります。
	充電器の放熱を妨げるような使用はしないでください。 …発火、故障の原因になります。
	分解および改造はしないでください。 …感電、発火、故障の原因になります。
	充電器は、室温5℃～40℃の範囲でご使用ください。
	バッテリーがぬれたときは、水分をよく拭取ってから、本体への取付けや充電をしてください。

使用方法

●異常時の処置

⚠ 危険



ご使用中に異臭、異音、変色を感じたり、異常に高温になったときは、直ちに使用を中止し、バッテリーを取外してから離れてください。その後、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。

…発火、爆発の原因になります。

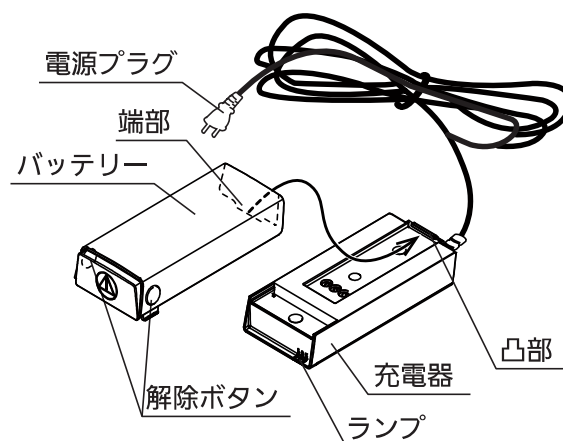
●充電器の使用方法

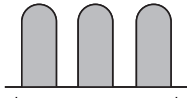
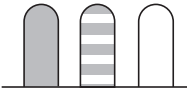
① 電源プラグを家庭用AC100Vコンセントに差込むと、ランプ（緑）が3つ点灯します。

② バッテリー下の端部を充電器の凸部に差込み、バッテリー上部をロックがかかるまでしっかり押込みます。

③ バッテリー残量に応じてランプ（緑）が点灯／点滅し、充電を開始します。

フル充電するためには、約4時間かかります。



ランプ	 点灯	 点灯 点滅	 点灯 点滅	 点滅
状態	90～100% (バッテリー無しの場合は通電中)	65～90%	40～65%	0～40%

④ 充電が完了したら、バッテリーの両側面にある解除ボタンを押込んだまま両手で持上げて、取外してください。

⑤ 電源プラグをコンセントから抜きます。

注意



充電器は、平坦な場所に置いてご使用ください。



バッテリーが完全に放電している場合は、バッテリーの保護のために通常よりも長時間かけて充電を行います。そのまま充電が完了するまでお待ちください。

バッテリー

●バッテリーの安全上の注意

⚠ 危険

	バッテリーは、本製品付属の充電器以外で充電しないでください。 …発火、爆発、故障の原因になります。
	火気を近づけないでください。 …発火、爆発、故障の原因になります。
	分解・改造しないでください。 …発火、爆発、故障の原因になります。

⚠ 警告

	バッテリーを廃棄する際は、一般ごみと一緒に廃棄せず、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。 …火災や破裂の原因となることがあります。
	リチウムイオンバッテリーを輸送する場合は取扱いに制限が生じます。輸送業者などに確認、相談をおこなってください。

⚠ 注意

	バッテリーは、落とすなどして衝撃を与えないでください。 …ケガ、感電、発火、故障の原因になります。
---	--

注意

	バッテリーは、室温 5℃～40℃の範囲でご使用ください。
	バッテリーは、なるべく 10℃～25℃の範囲でご使用すると、劣化しにくく長持ちします。
	バッテリーは、水に浸けないでください。水に浸かったバッテリーはご使用を中止し、交換および廃棄してください。 …発火、爆発、故障の原因になります。

●異常時の処置

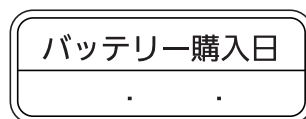
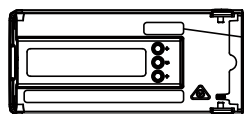
⚠ 危険

	ご使用中に異臭、異音、変色を感じたり、異常に高温になったときは、直ちに使用を中止し、バッテリーを外してから離れてください。その後、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。 …発火、爆発の原因になります。
---	---

使用方法

●バッテリーの管理

バッテリーの管理にお役立ていただけるよう、購入日の記入欄を設けています。
ご購入日を油性フェルトペンなどで記入してください。



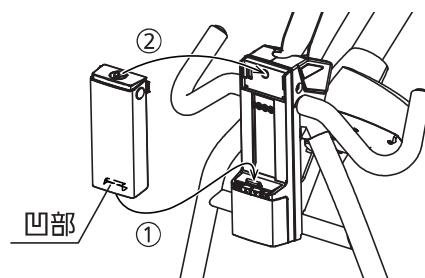
注意

	バッテリーは消耗品です。充電後の使える回数が新品時の半分(フル充電バッテリーでの昇降回数約20回)程度に低下したら交換時期です。使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
	初めて使用する場合や長時間使用しなかった場合は、必ず充電してください。
	バッテリーは直射日光を避けて、なるべく涼しい所に保管してください。 …劣化しにくくなります。

●バッテリーの着脱

バッテリーの取付け方法

- ①バッテリー下の凹部を、コントロールボックスの凸部に差込みます。
- ②ロックがかかるまでバッテリー上部をしっかり押込みます。
- ③ロックがかかって外れないことを確認します。

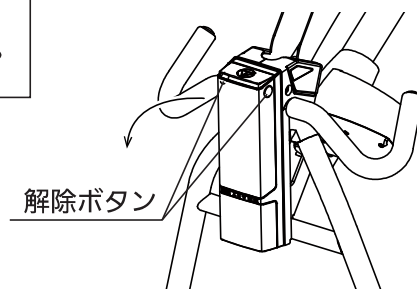


⚠ 注意

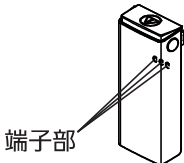
	皮膚を挟まないように注意して取付けてください。
---	-------------------------

バッテリーの取外し方法

- ・バッテリー上部の両側面にある解除ボタンを押込んだまま両手で支え、取外します。



⚠ 注意

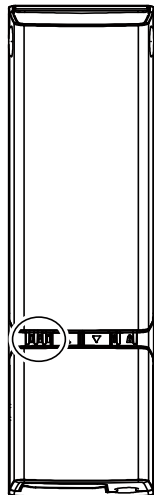
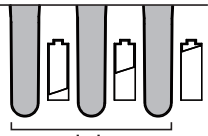
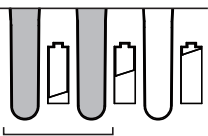
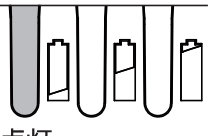
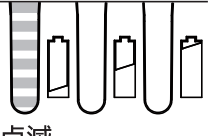
	バッテリー着脱時はバッテリーを落とさないように両手でしっかり持ってください。	
	バッテリー裏側にある端子部を、金属に接触させないでください。 …ショートして感電したり、故障の原因になります。	
	バッテリーがぬれたときは、水分をよく拭取ってから、本体への取付けや充電をしてください。	
	バッテリーをぬれた手で触れないでください。 …ショートして感電したり、故障の原因になります。	

使用方法

●バッテリーの残量確認

バッテリーをコントロールボックスに接続すると、バッテリー残量に応じてランプが点灯します。ランプは数分後に消灯します。

再び確認する場合は、本体スイッチ、または手元スイッチのボタンを押すか、バッテリーを脱着するとランプが点灯します。

	 点灯	バッテリー残量は75～100%です。
	 点灯	バッテリー残量は50～75%です。
	 点灯	バッテリー残量は50%未満です。 無理に使用せず、早めに充電してください。
	 点滅	使用せず、充電してください。 そのまま操作すると、ピーと音が鳴ります。

⚠ 注意



残量低下にもかかわらず連続使用した場合は、バッテリーの保護機能により電源が切れることがあります。この場合、残量表示や各機能は正常に動作しなくなります。

注意



ご使用の前にバッテリー残量が十分あることを確認してください。



使用後はバッテリーを本体に接続したままにせず、毎回充電してください。
…本体に接続した状態では、ご使用にならなくても、少しずつ電力を消費します。残量が少ない状態が続くと、バッテリーの寿命は短くなります。



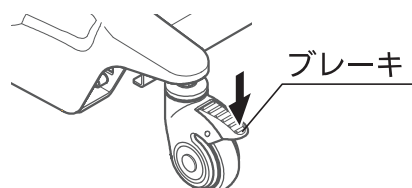
バッテリーは保管中も自己放電によって徐々にその容量を失っていますので、充電しないと性能が出ないことがあります。使用しない場合は充電してから取外して保管し、最低でも12ヵ月以内に再び充電してください。

使用方法

ブレーキ

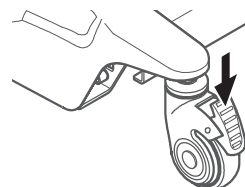
●ブレーキをかける

後輪キャスターのブレーキの外側を踏込むと
ブレーキがかかります。



●ブレーキを解除する

後輪キャスターのブレーキの内側を踏込むと
ブレーキが解除されます。



旋回サポート

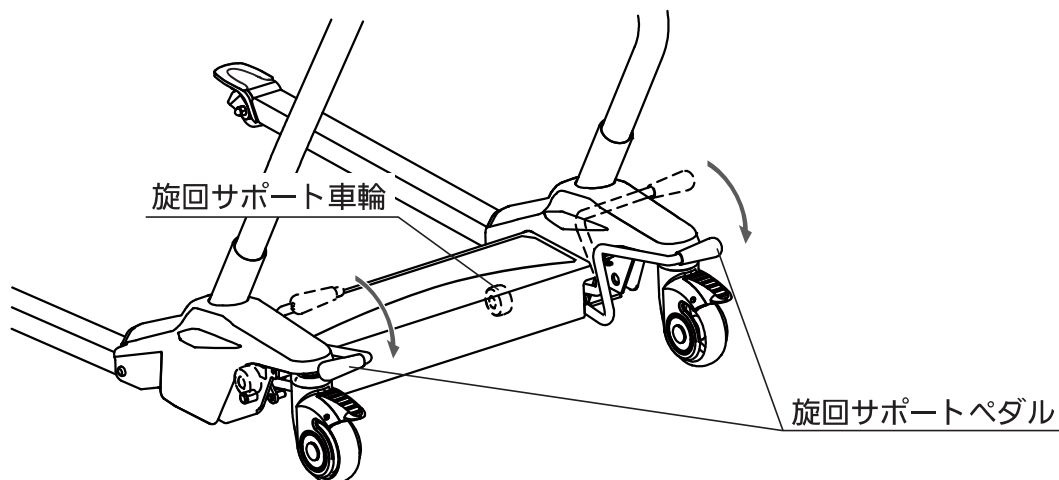
狭い場所でのリフト使用など、旋回サポートを使用すると方向転換を楽に行うことができます。
ご利用者を吊上げる前後のどちらでも操作できます。

●旋回状態

旋回サポートペダルを足で踏込むと、ベース中央にある車輪が床に接地し、方向転換の支点になります。

●走行状態

旋回サポートペダルを足で跳上げると、ベース中央にある車輪が床から離れます。



⚠ 注意

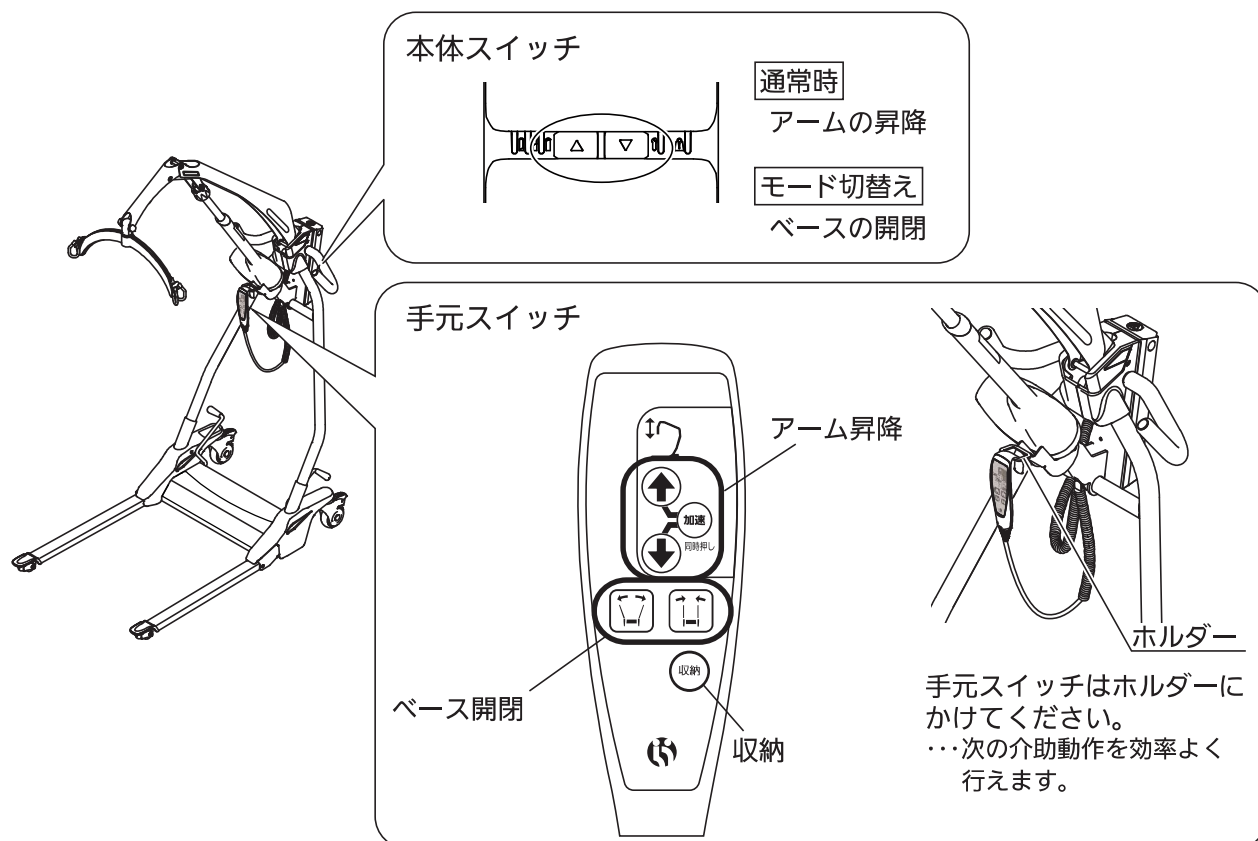
	旋回状態では、横スライド移動はしないでください。 …事故、故障の原因になります。
	旋回サポートペダルの上に乗ったり、必要以上に強く操作しないでください。 …事故、故障の原因になります。

注意

	長時間、旋回サポートを旋回状態にしていると、旋回サポート車輪が変形します。 使用しないときは旋回サポートを走行状態にしてください。
---	--

使用方法

手元スイッチ・本体スイッチ



⚠ 危険



手元スイッチはご利用者に操作させないでください。

⚠ 注意



手元スイッチのケーブルは無理な折曲げや引っ張り、はさみ込みがないようにしてください。特にケーブルを伸ばす場合、手元スイッチ根元部分が急角度になるような伸ばし方はしないでください。

…故障の原因になります。

ケーブルの伸ばし方



2 分間以上連続して使用しないでください。2 分間使用した場合は、18 分間休止してください。

…2 分間以上連続して使用すると、電装品が故障する恐れがあります。

注意



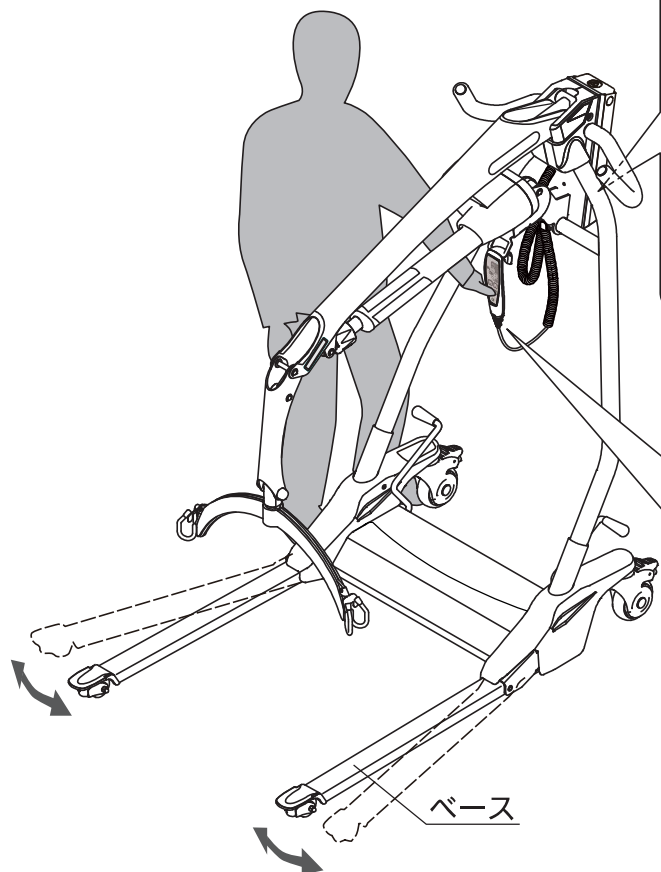
手元スイッチ、本体スイッチを必要以上に操作しないでください。

…電気系統の故障、劣化、誤作動による事故の原因になります。

使用方法

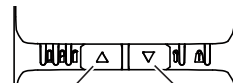
ベース開閉

手元スイッチ、本体スイッチのひらくボタン、とじるボタンを押すと、ベースが開閉します。
ボタンを押している間だけ作動します。



本体スイッチ

- ・ を同時に押すと、ピピッと音が鳴り、ベースを開閉するモードに切替わります。



ひらくボタン

とじるボタン

- ・ 操作を行わなければ、3秒後に通常モードに戻ります。

手元スイッチ



ひらくボタン

とじるボタン

⚠ 注意

	ベースを開閉させるときは、ご利用者の手足のはさみ込み、物のはさみ込みに注意してください。	
--	--	--

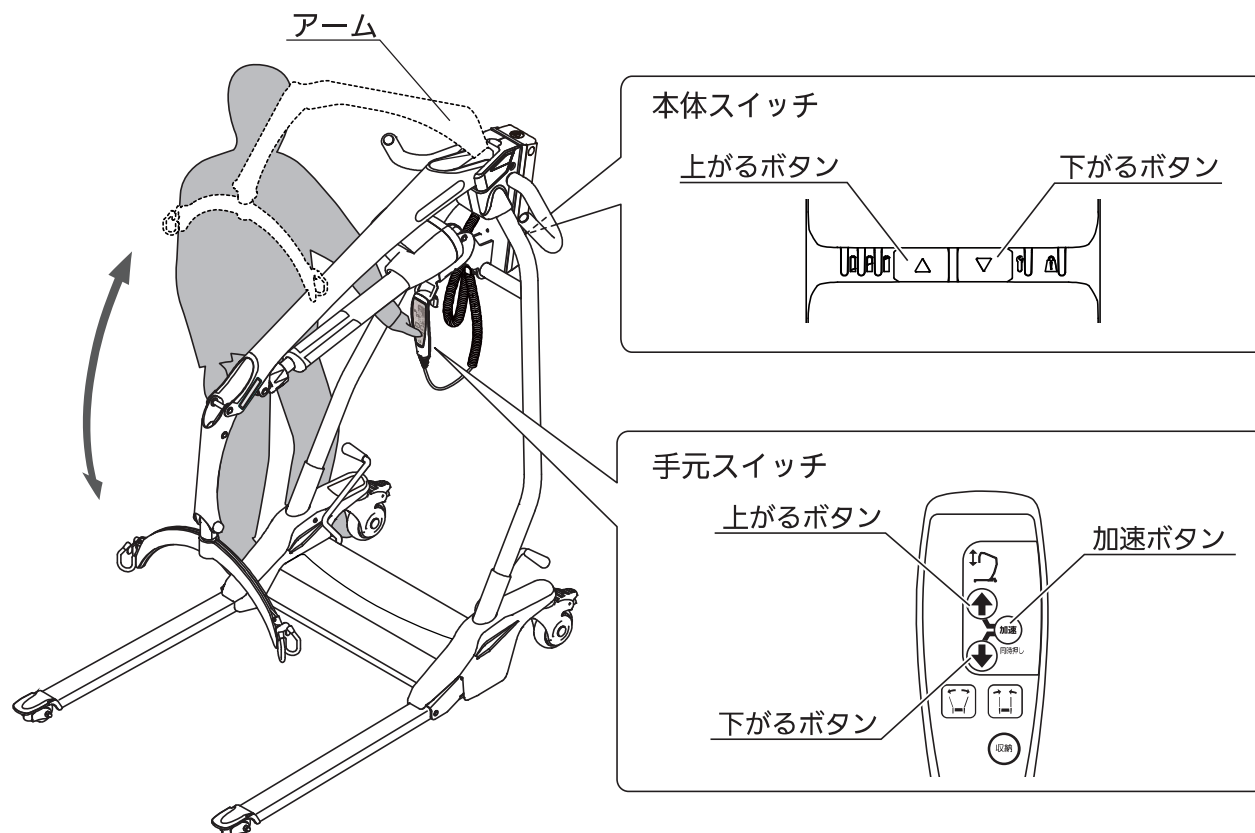
注意

	ご利用者を吊上げた状態でベースの開閉はしないでください。 …異音の原因になります。
	畳やじゅうたんの上でベースの開閉はしないでください。 …畳やじゅうたんを傷つける恐れがあります。状況により、フローリングに換える、タイルカーペットを敷くなどしてご使用ください。

使用方法

アーム昇降

手元スイッチ、本体スイッチの上がるボタン、下がるボタンを押すと、アームが昇降します。ボタンを押している間だけ作動します。



●加速機能

⬆️+⬆️、または⬆️+⬆️を同時に押している間、昇降スピードが速くなります。
(無負荷時のみ使用可)

⚠️ 危険



ご利用者を吊った状態では加速機能は使用しないでください。
…故障や事故の原因になります。

●はさみ込み防止機能

下降時に障害物に接触してはさみ込みを検知すると、下降が自動停止します。アームを上昇させ、はさみ込みの原因を取除くと、ご使用できます。

⚠️ 注意



ご利用者を吊上げ、吊下ろしをするときは、本体のベースを最大まで開いてから行ってください。
…本体が不安定になり、転倒してケガをする恐れがあります。

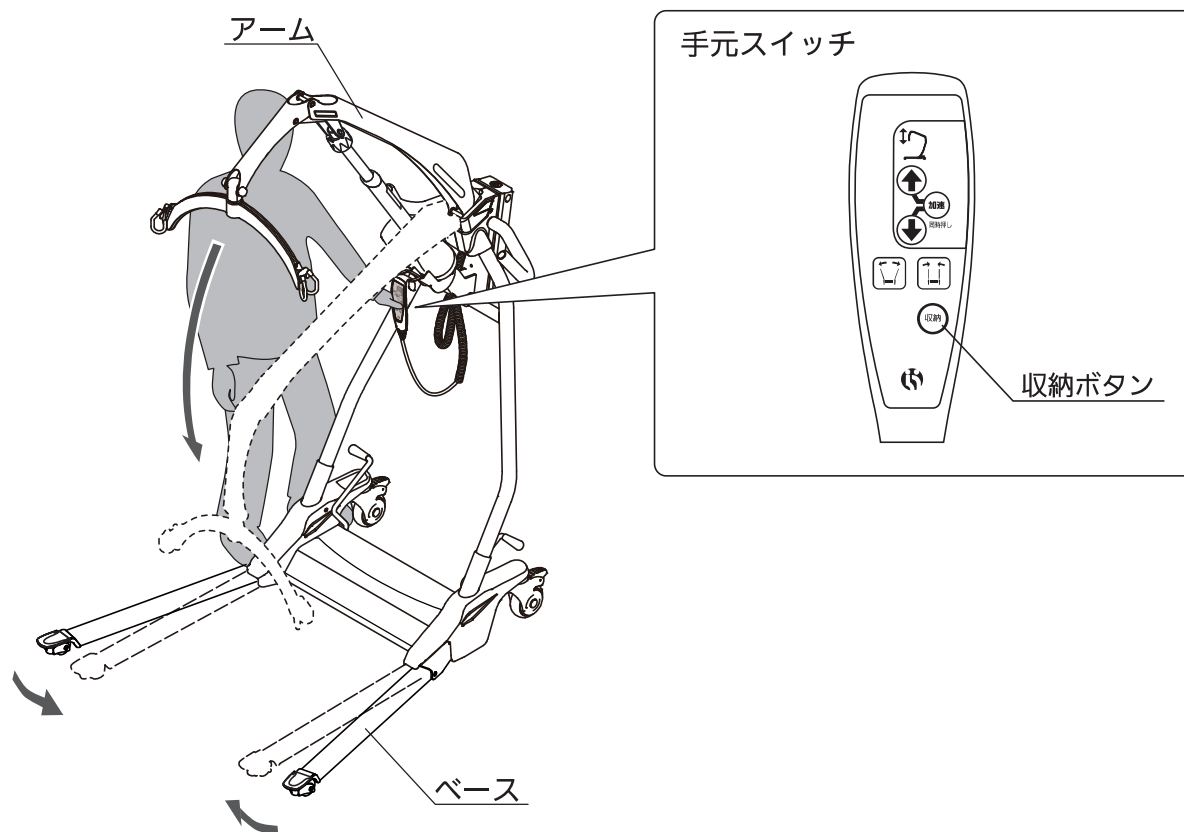


アームを昇降するときは、ご利用者の転落、転倒、手足（身体）のはさみ込み、物のはさみ込みに十分注意してください。

収 納

● 収納機能

収納ボタンを押している間、アームは下がり、ベースは閉じる動作を同時に行います。



⚠ 危険



ご利用者を吊った状態では収納機能は使用しないでください。
…故障や事故の原因になります。

⚠ 注意



収納ボタンと同時に加速ボタンを押しても速く動くことはありません。
停止します。
…2 ボタン同時操作は停止となります (加速機能以外)。

緊急停止と手動降下

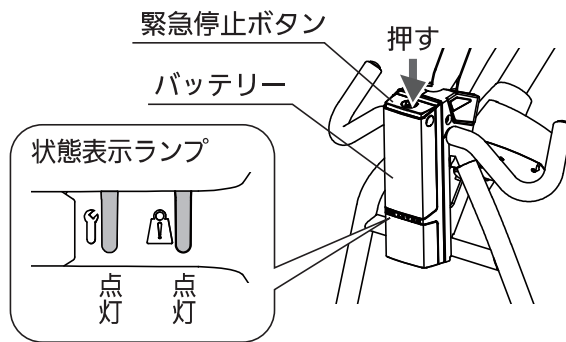
●緊急停止ボタン

緊急停止するときは、バッテリー上部の緊急停止ボタンを押込んでください。

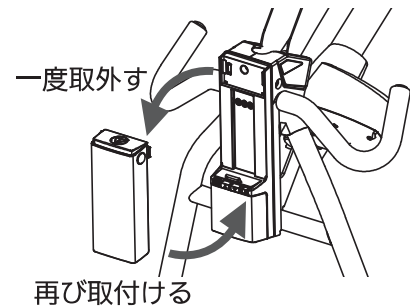
アームの昇降動作、ベースの開閉動作が止まります。

緊急停止ボタンはバッテリーを一度取外して再び取付けると解除されます。

・緊急停止するとき

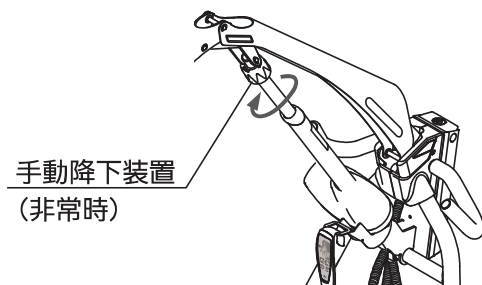


・解除するとき



●手動降下装置（非常時）

充電切れや、スイッチの故障などのときは、アクチュエーター先の赤色のグリップを矢印の方向に回すことでアームを降下させることができます。



⚠ 危険

⚠	非常時以外は使用しないでください。
⚠	手動降下装置を使用するときは、ご利用者をやわらかいもの（ベッド、車いすなど）の上に降ろしてください。
⚠	手動降下装置を使用するときは、片方の手で手動降下装置を操作し、もう片方の手でご利用者の身体を支えてください。 …本体が不安定になり、転倒してケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

⚠	手足（身体）のはさみ込みに十分注意してください。
---	--------------------------

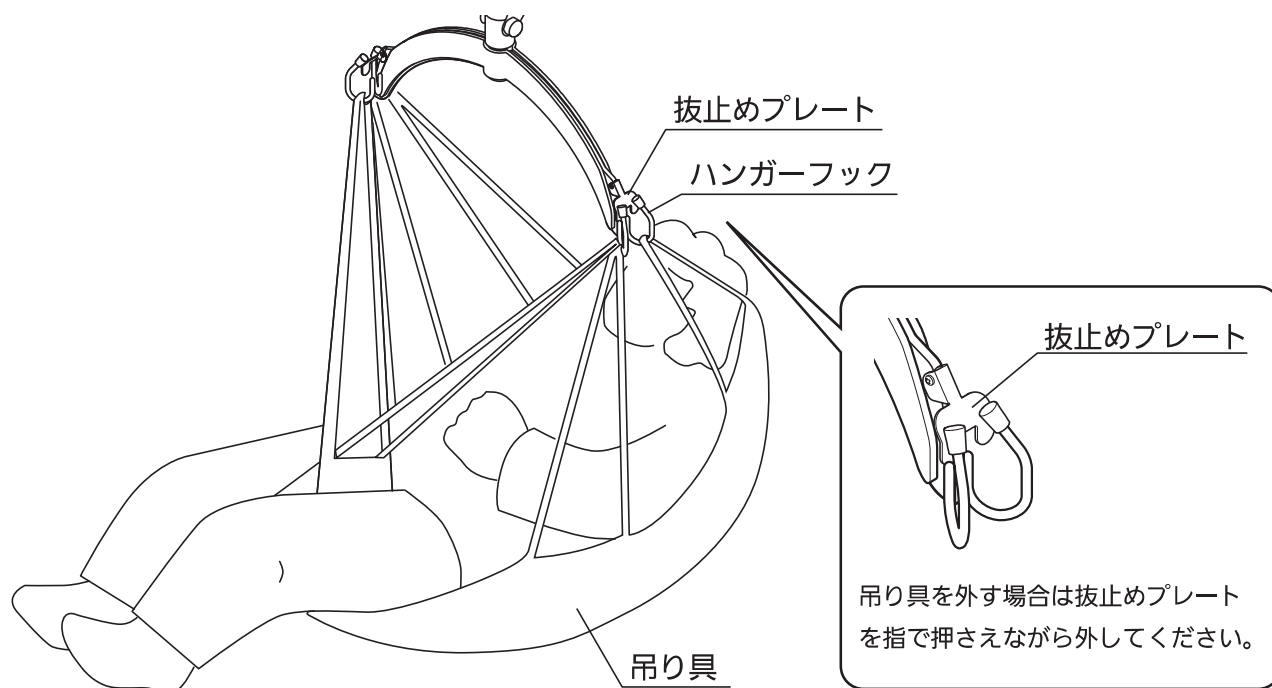
注意

⚠	手動降下装置でアームを上昇することはできません。
---	--------------------------

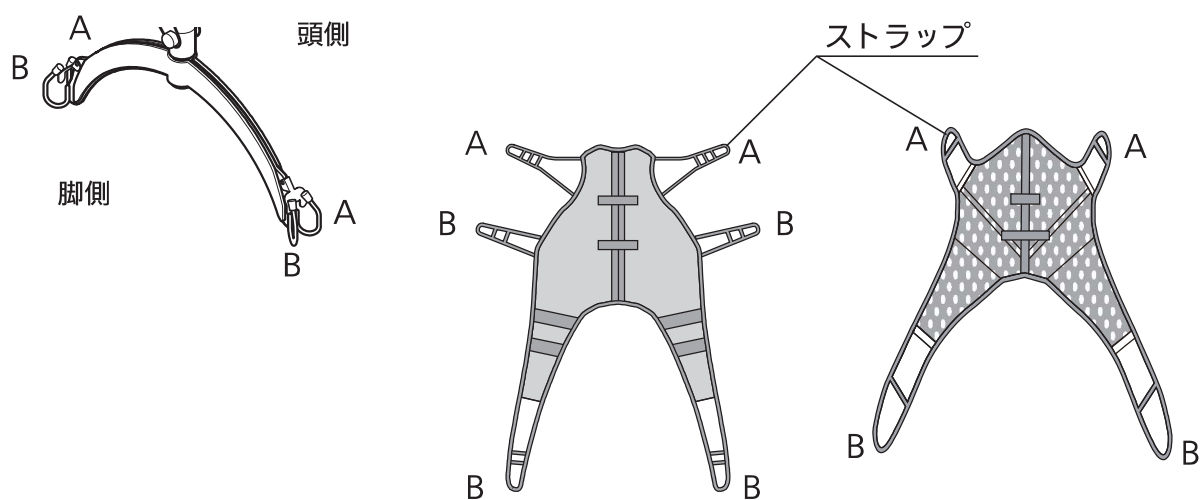
使用方法

ハンガー

ハンガーフック部には吊り具用の抜止め装置がついています。吊り具を取外すときは、下図のように抜止めプレートを指で押さえながら外してください。



●ストラップの位置



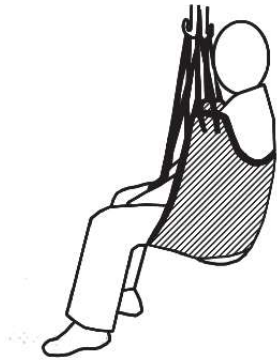
⚠ 注意



ハンガーやアームをご利用者にぶつけないようにしてください。

吊り具

●基本的な吊り姿勢



○正しい吊上げ姿勢



お尻が抜落ちている

× 悪い吊上げ姿勢

- ・ 吊上げたときの姿勢は、身体を立てた方が安全で快適です。また、車椅子の着座時にも便利です。

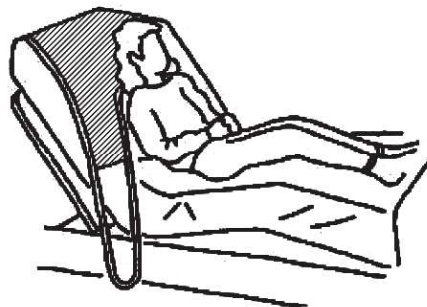
※ストラップの吊り位置を変えることにより姿勢を調節できます。ご利用者の身体状況により調節してください。

使用方法

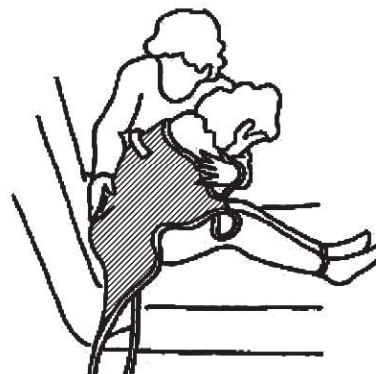
●吊り具の装着

(a) 背上げ機能のあるベッドや車椅子の場合

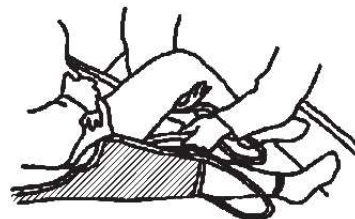
①吊り具を広げ、頭と背中の中におきます。



②上半身を前傾させ、片手で支えながら、片手で吊り具を背中に差込みます。お尻とベッドのマットレスの間に深く差込んでください。また、吊り具の中央が背中中央になるようにしてください。



③脚部を持ち、脚ストラップを太ももの下に通し、股の間から出します。(両側とも同様)ストラップの内側を引くことにより、お尻をしっかりとカバーすることができます。



⚠ 注意



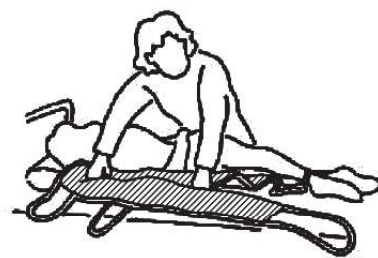
左右の脚ストラップの長さが同じであることを確認してください。

使用方法

(b) 平らなベッドの場合

※座位の取れる方は（a）と同様の手順で装着します。

- ①ご利用者を横向きにして、背中側に吊り具を広げます。吊り具の向こう側はきれいに広げ、手前側は身体の下を通しますので適宜丸めておきます。吊り具の位置は、お尻の部分が合うように置いてください。また、脚ストラップが脚側で、取っ手のない面が身体側となっているか確認してください。



- ②ご利用者を反対側に寝返りさせ、吊り具の手前側半分を広げます。吊り具の中央が背中中央になるようにしてください。



- ③脚ストラップを太ももの下を通して、股の間から出します。（両側とも同様）ストラップの内側を引くことにより、お尻をしっかりとカバーすることができます。



⚠ 注意



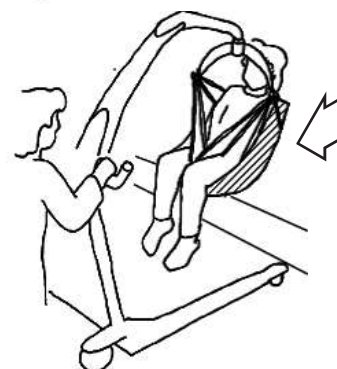
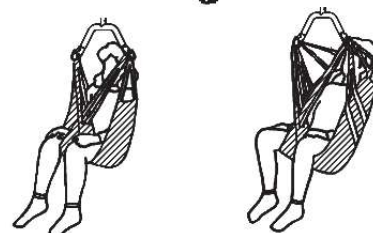
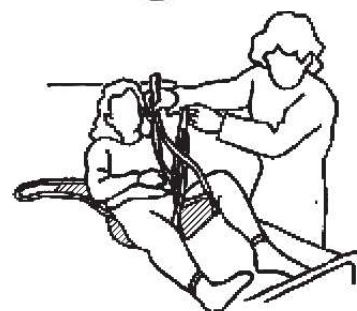
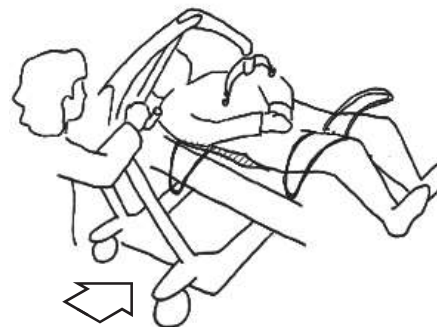
左右の脚ストラップの長さが同じであることを確認してください。

使用方法

●吊り具の吊上げ方

ベッドの下には本体のベースが入り込みます。あらかじめベッドの下の荷物を邪魔にならないように片付けてください。

- ①ブレーキを解除します。
- ②操作ハンドルをにぎり、本体のベースをベッドの下に差入れ、ハンガーが胸の中央部にくるようにします。
- ③手元スイッチのさがるボタンを押し、ハンガーをストラップがかけられる高さまで下げます。
- ④一方の脚ストラップを他方のストラップの間に通し、反対側のハンガーフックにかけます。
- ⑤すべてのストラップをハンガーフックにかけます。
- ⑥アームを少しずつ上げ、上半身が起上がった状態（お尻がマットレスから離れる前の状態）で一度止め、太ももの下および背中部分にしわやねじれがないことを確認してください。
- ⑦操作ハンドルを持って本体をベッドから離します。



⚠ 警告

⚠	お尻をしっかりとカバーできるように装着してください。お尻が落込んだ姿勢では、身体が抜落ちる危険性があります。
⚠	ストラップにねじれがないことを確認してください。ねじれがあると左右の長さが変わり、身体が傾いたり、太ももが圧迫されます。

⚠ 注意

⚠	本体を操作するときは、ブレーキは解除してください。手で身体を支えながら、吊り具がフックにしっかりかかっているか、左右が均等になっているか、頭、上半身、脚が吊り具に乗っているか、吊り具にしわがないか（しわがあったら伸ばします。）など必ず確かめながら慎重に操作してください。
---	---

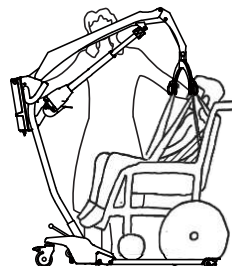
使用方法

●吊り具の降ろし方

- ①リフト本体を車椅子など乗換えるものに正面から近づけ、きちんと座れる位置に身体を移動させます。移動はゆっくりと行ってください。また、畳やじゅうたんなど柔らかい床面では、できるだけ車椅子など動かしやすい機器を動かしてください。



- ②手元スイッチを持ってそばにより、身体を支えながらさがるボタンを押して座らせます。



⚠ 注意



乗換える機器が動かないようにしてから行ってください。車椅子の場合には車椅子のブレーキをかけてから行ってください。

- ③吊り具がややゆるむ程度までアームを下げ、ハンガーから吊り具を外します。



使用方法

●車椅子に深く座る

姿勢が寝ている場合、次のような方法で深く座ることができます。

a 吊り具の取っ手を座るタイミングに合わせて上方に引きます。



b 座る直前に膝を下側に押すと、お尻が後方に振られます。



c 車椅子をリクライニングさせてから座らせます。



d 車椅子を傾けておき、下降とともに車椅子を水平まで戻します。



⚠ 注意



a、b、cの方法で座らせるときは、必ず車椅子などのブレーキをかけてください。

使用方法

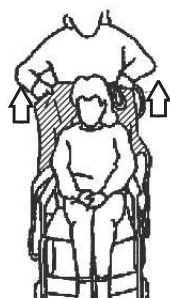
●吊り具を外す

平らなベッドの場合および皮膚が弱くて床ずれを作りやすい方の場合は、装着と逆の手順で丁寧に外してください。背上げ機能のあるベッドおよび車椅子のときで、床ずれの心配がない場合は、次の方法で外します。

①脚ストラップを外し、上に引っばります。



②背中から吊り具を引抜きます。（ご利用者の身体を前に傾けると引抜きやすくなります。）



日常のお手入れ

ご利用者の衛生管理のため、本製品を清潔に保つ必要があります。お手入れは、ご使用後または2～3日おきに行うことをおすすめします。また、お手入れされる時は使用前点検（本書9ページ参照）も行っていただくと、トラブルを防ぐこともでき、より安全にご使用いただけます。

お手入れ方法

●本体の清掃

水で薄めた中性洗剤にタオルを浸し、固く絞って汚れを拭取ってください。

注意

	クレンザー、みがき粉などの洗剤は表面を傷つけるため使用しないでください。
	塩素系の洗剤は使用しないでください。塩素系の洗剤が付着したときは、十分に水洗いしてください。 …金属部分は錆びます。クッションなどは変色、劣化します。
	ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。 …変形や変色、電気系統の故障、劣化、誤作動による事故の原因になります。

●バッテリーの清掃

水で薄めた中性洗剤にタオルを浸し、固く絞って汚れを拭取ってください。

清掃後のバッテリーは、風通しが良く涼しい場所で保管してください。

注意

	購入日記入欄に記入されたご購入日を清掃時に誤って消さないようにしてください。
---	--

●消毒

金属、プラスチック部分は、エタノールによる清拭消毒をおすすめします。

注意

	熱湯や高温スチームによる消毒はしないでください。
	次亜塩素酸ナトリウムが金属部分に付着すると、腐食します。使用しないでください。

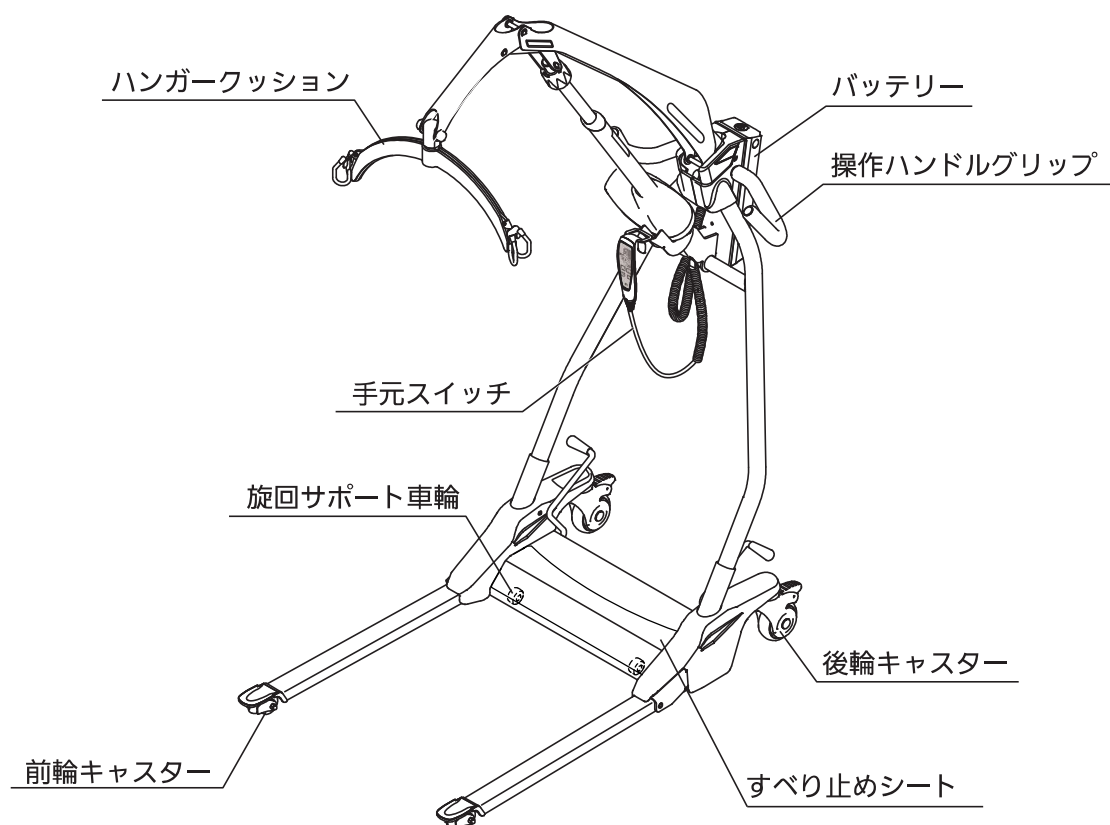
●保管

使用しないときは、直射日光を避けて風通しの良い場所に保管してください。

注意

	薬品の揮発成分や腐食性ガスが充満する環境での保管、使用はしないでください。
---	---------------------------------------

消耗品の名称



消耗品の交換時期

消耗品が交換時期になっていないかご確認ください。

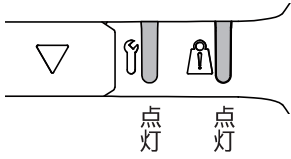
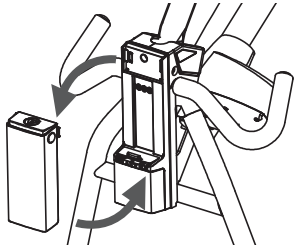
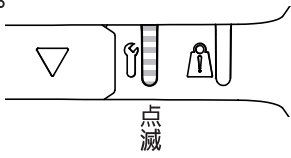
交換時期に該当するものは、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。

消耗品	交換時期	⚠ 注意
前輪・後輪キャスター	前輪・後輪キャスターのがたつきが大きくなったとき、タイヤ表面にひびや劣化が現れたとき。	転倒、ケガの原因になります。
旋回サポート車輪	タイヤ表面にひびや劣化が現れたとき。	
操作ハンドルグリップ	劣化したとき。ひどく汚れてきたとき。	
ハンガークッション	劣化したとき。ひどく汚れてきたとき。	
すべり止めシート	劣化したとき。ひどく汚れてきたとき。	
手元スイッチ	昇降・開閉操作ができなくなったとき。	
バッテリー	充電後の使える回数が新品時の半分（フル充電バッテリーでの昇降回数約20回）程度に低下したとき。	

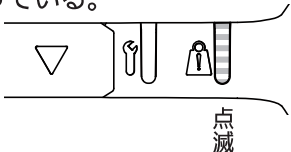
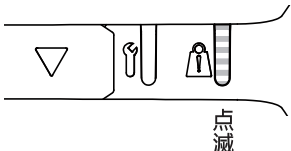
トラブルシューティング

リフト

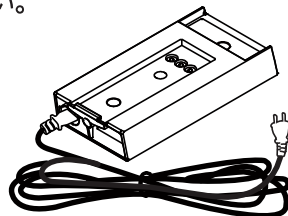
次以外のトラブル内容および次以外の原因の場合、また、次の対処方法では解決しなかった場合は、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。トラブル解決までは、絶対に使用しないでください。

トラブル内容	主な原因	対処方法
アーム昇降、ベース開閉ができない。	緊急停止ボタンが押込まれている。 状態表示ランプ  点灯 点灯	バッテリーを一度外して再び取付けて、解除してください。 
	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電してください。
	バッテリーが完全に放電している。	バッテリーが完全に放電してしまうと、充電容量が極端に低下してすぐに寿命を迎えます。充電しても残量が増えない場合は、バッテリーを新品に交換してください。
	本製品の連続使用時間を超えて使用した。  点滅	お待ちいただいてランプが消えればご使用になれますが、故障の原因になりますので、連続使用時間を超えて使用しないでください。
	本体スイッチの故障。	本体スイッチを操作しても昇降・開閉できず、手元スイッチで動く場合は、本体スイッチが故障している場合があります。ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
	手元スイッチの故障。	手元スイッチを操作しても昇降・開閉できず、本体スイッチで動く場合は、手元スイッチが故障している場合があります。ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
	電気系統の故障。	手元スイッチ、本体スイッチのどちらを操作しても昇降・開閉できず、手動降下装置で下降できる場合は、電気系統が故障している場合があります。ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。

トラブルシューティング

トラブル内容	主な原因	対処方法
アーム昇降、ベース開閉をすると異音がする。動作がスムーズに行えない。	アクチュエーターの故障、昇降機構、開閉機構の摩耗。	使用を中止し、ご購入先または、弊社各営業所までお問合せください。
手動降下装置が手で回らない。	アクチュエーターの故障。	使用を中止し、ご購入先または、弊社各営業所までお問合せください。
アクチュエーターの先端部分が回転してアーム昇降しない。		
操作していないのに、アームがじわじわと下がる。		
アーム昇降・ベース開閉の途中でピーと音がする。	バッテリー残量が少ない。	バッテリーを充電してください。
アーム上昇の途中で止まる。	本製品の最大持上げ質量を超えて使用した。またはアームが何かに引っかかっている。 	持上げている質量を減らす、または引っかかりを取除き、ランプが消えればご使用になれますが、故障の原因になりますので、120 kg を超える方には使用しないでください。
ベース開閉の途中で止まる。	ベースが何かに引っかかっている。 	引っかかりを取除き、ランプが消えればご使用になれます。
残量のあるバッテリーをコントロールボックスに取付けても、残量確認ランプが点灯しない。	コントロールボックスの故障。	ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
本体が移動できない。	ブレーキがかかっている。	ブレーキを解除してください。
本体が横移動できない。	旋回サポートが旋回状態になっている。	旋回サポートを走行状態にしてください。
ブレーキがかからない。	後輪カスターの故障。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
カスターががたつく。	前輪・後輪カスターの故障、劣化。	

バッテリー・充電器

トラブル内容	主な原因	対処方法
充電後の使える回数が新品時の半分（フル充電バッテリーでの昇降回数約20回）程度に低下した。	バッテリーの寿命。	バッテリーを新品に交換してください。
充電開始前に充電器のランプ（緑）が3つ点灯しない。	ACケーブルの電源プラグが家庭用AC100Vコンセントに接続されていない。	電源プラグを家庭用AC100Vコンセントに接続してください。
	ACケーブルの故障。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
	充電器とACケーブルが接続されていない。	充電器とACケーブルを接続してください。 
	充電器の故障。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
充電開始しても、充電器のランプ（緑）が3つ点灯したままで変化が無い。	バッテリーが充電器に取付けられていない。	バッテリーを充電器にしっかり取付けてください。
	充電の必要がないバッテリーを充電している。	バッテリーをコントロールボックスに接続し、残量を確認してください。3個点灯すれば、そのままご使用ください。
充電を開始した後に、充電器のランプ（緑）が3つ全て点滅する。	バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎるため、充電を中止した。	バッテリーを取り外し、バッテリーの温度が10～25℃程度になるまで待ってから充電をやり直してください。
	バッテリー、または充電器の故障。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
充電を開始した後に、充電器のランプ（緑）が3つ全て消えている。	ACケーブルの接続が抜けてしまった。	ACケーブルを接続してから充電をやり直してください。
	バッテリー、または充電器の故障。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。

トラブルシューティング

トラブル内容	主な原因	対処方法
コントロールボックスで 残量確認を行うと充電器 のランプの表示に比べて 残量が少ない。	バッテリーの充電器への取付けが 外れた。 (バッテリーが接続されていないと、 フル充電と同じ表示になる。)	バッテリーを充電器にしっかり 取付けてください。
	バッテリーと充電器の通信の過程で 一時的に残量が異なって表示された。	更に充電を行い、30分間程度表示 が変わらないことを確認してから 充電を完了してください。
いつもより充電に時間 がかかる。	バッテリーを放電させてしまったため、 保護機能によりゆっくり充電している。	フル充電になるまでそのままお待ち ください。 バッテリーの劣化の原因になります ので、少ない残量で使い続けたり、 充電をせずに長期間保管しないで ください。
長時間（24時間程度） 充電しても、フル充電 にならない。	バッテリーの寿命。	使用を中止し、ご購入先または 弊社各営業所までお問合せください。
	充電器の故障。	

ご使用期間とアフターサービスについて

ご使用期間について

本製品は、標準的な使用環境と使用条件下で、取扱説明書にしたがって正しく使用した場合の標準使用期間を8年と定めています。この期間を超えて使用されますと、機能部品はもとより主要構造材も、経年劣化により破損する恐れが出てきます。使用期間が8年を超えた製品については、弊社同等製品への買い替えをお勧めいたしますが、引き続いての使用をご希望される場合は、必ず弊社各営業所にご連絡のうえオーバーホールを受けてから使用してください。
※注1
※注2 注3
詳細につきましては弊社各営業所までお問い合わせください。

注1：標準使用期間と保証書に記された無償修理の保証期間とは異なるものです。

注2：オーバーホールは、その後の無償修理の保証を約束するものではありません。

注3：お客様の強いご希望で、使用期間終了後オーバーホールを受けずに本製品を使用される場合は、本製品を使用中に発生した、いかなる不具合ならびに事故に対して、弊社はその責任を負いません。

修理を依頼されるときは

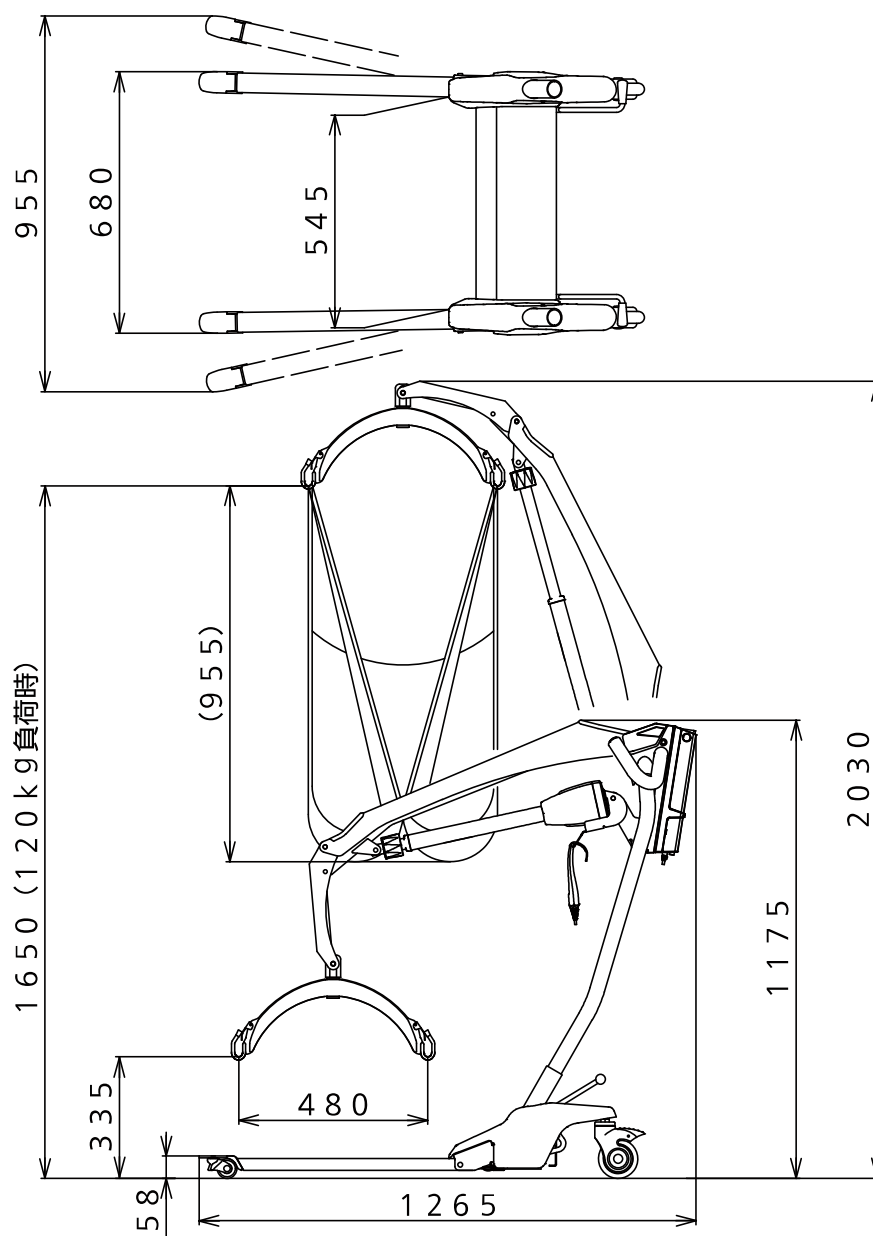
修理を依頼される前に取扱説明書をよくお読みになり、再度ご点検のうえ、なお異常がある場合、ご購入先または記載の弊社各営業所までご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

ご住所・ご氏名・電話番号

商品名・型番・製造番号・ご購入先・お買い上げ日

故障、または異常の内容（できるだけ詳しくお願いいたします。）



奥行	1 2 6 5 mm
全幅	6 8 0 ~ 9 5 5 mm
全高	1 1 7 5 ~ 2 0 3 0 mm
脚部高さ	5 8 mm
吊上げ高さ（ハンガーフック部）	3 3 5 ~ 1 6 5 0 mm（1 2 0 kg 負荷時）
上昇時間	約 3 6 秒（1 2 0 kg 負荷時）
下降時間	約 3 0 秒（1 2 0 kg 負荷時）
重量	約 4 9 kg
最大持上げ質量	1 2 0 kg

●キャスター径 / 前輪 5 0 mm・後輪 1 0 0 mm

主要材質 / スチール

バッテリー仕様（2 4 V・2. 9 A h）

フル充電約 4 時間 / 9 0 kg 負荷で約 2 2 回動作可（2 回アーム昇降＋1 回ベース開閉）

保証書

見本

商品名 移動式リフト

型番 EL-610

本書は、本書記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、販売店に修理をご依頼ください。保証期間は、お買上げ後1ヵ年です。

〈無償修理規定〉

- 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった「正常な使用状態」において故障した場合には、無償修理をいたします。ただし、交換時期となった取扱説明書記載の消耗品・交換部品は除きます。
- 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変、異常電圧による故障および損傷
 - 取扱説明書内に記載された使用目的以外に使用された場合の故障および損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に対して、弊社はその責任を負いません。

※ 弊社は、弊社または販売店から直接、本製品をご購入いただいた第1次ご購入者であるお客様に対してのみ、この保証書に基づく責任を負うものとします。第1次ご購入者様からの転売などにより本製品を保有されるお客様に対しては、この保証書に基づく責任を含め、一切の責任を負いません。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、販売店にお問合せください。

※ 保証期間終了後の修理については、取扱説明書内“ご使用期間とアフターサービスについて”をご覧ください。

製造元：  株式会社 **いうら**

本社・松山支店：〒791-0214 愛媛県東温市南野田410番地6

TEL 089(964)7770 FAX089(964)1522

URL <https://www.iura.co.jp>

※以下の項目は必ずご記入ください。

お 客 様	販 売 店
ご住所 〒 -	
お電話 - -	
お名前 様	
お買上げ年月日 年 月 日	



本社・松山支店	〒791-0214	愛媛県東温市南野田 410 番地 6 TEL089(964)7770 FAX089(964)1522
東京支店	〒174-0063	東京都板橋区前野町 2 丁目 30-24 TEL03(5939)8611 FAX03(5939)8612
札幌営業所	〒007-0834	北海道札幌市東区北 34 条東 26 丁目 2-18 TEL011(788)5334 FAX011(788)5341
仙台営業所	〒983-0034	宮城県仙台市宮城野区扇町 7 丁目 1-18 TEL022(781)6715 FAX022(781)6796
北関東営業所	〒371-0801	群馬県前橋市文京町 4 丁目 20-17 TEL027(212)2066 FAX027(212)2067
名古屋営業所	〒485-0012	愛知県小牧市小牧原新田 1660-3-D TEL0568(42)6015 FAX0568(71)9656
大阪営業所	〒564-0002	大阪府吹田市岸部中 4 丁目 8-30 TEL06(4860)6601 FAX06(4860)6602
福岡営業所	〒839-0841	福岡県久留米市御井旗崎 4 丁目 4-42 TEL0942(45)3808 FAX0942(45)3809

URL <https://www.iura.co.jp>